

4-5. 車いすへの着座方法

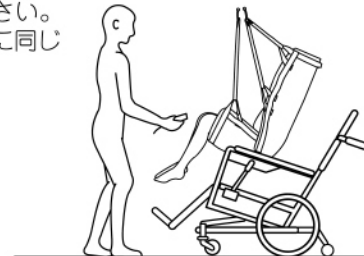
(1) 膝を押す=ブレーキを掛ける

- ①車いすのブレーキを掛けます。
- ②着座直前に、深く座れる位置まで両膝を背中側に押しながらスイッチを操作してください。



(2) ティルト・リクライニングの角度を合わせる

- ①車いすのブレーキを掛けます。
- ②対象者の吊り姿勢（角度）に合わせて、ティルト・リクライニングを調整します。
- ③深く座れる位置を確認してスイッチ操作してください。
(1)に同じ



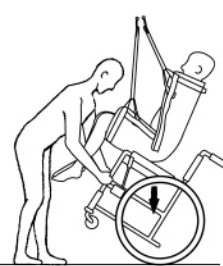
転倒防止を
してください。

(3) キャスターアップする=ブレーキを解除

- ①車いすのブレーキを解除し、前方(後方)よりキャスターをアップします。
- ②スイッチを操作して下降させます。
この時、対象者の重さを感じながら徐々に車椅子をもどします。



レッグサポートが取り外せる場合は、
外してください。



指のはさみに注意してください。
車いすの構造により困難な場合があります。



注意

後方からのキャスターアップでは、対象者のつま先が視認しにくいので、注意が必要です。
対象者の足が車いすに干渉しないように注意してください。

5. お手入れ



水温を95度まで上げることが可能で、洗濯機を使って洗うことができます。



酸素系漂白、塩素系漂白とともに使用できません。



洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。
(乾燥機を使った乾燥はできません。)



直射日光の当たらない日陰に、ハンガーを使って吊り干してください。



アイロンがけできません。



パークロロエチレン、及び石油系溶剤を使用したドライクリーニングができます。



ウェットクリーニングができます。

ご使用開始日 年 月 日から使用。

使用開始後3年を目安に買い替えをお勧めします。

■製造発売元



MORITOH CORPORATION

株式会社 モリトー

お客様相談室
[24時間受付]

モリトーホームページ
E-mail

0120-65-2525

http://www.moritoh.co.jp
info@moritoh.co.jp



■本社 社/〒491-0074 愛知県一宮市東島町3-36

TEL (0586) 71-6151 FAX (0586) 72-4555

■札幌営業所/〒063-0870 北海道札幌市西区八軒十条東1-1-57-101

TEL (011) 708-5200 FAX (011) 708-5201

■仙台営業所/〒981-1102 宮城県仙台市太白区袋原6-9-22

TEL (022) 302-7914 FAX (0586) 72-4555

■埼玉営業所/〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵4-12-6-103

TEL (048) 753-9393 FAX (03) 3777-1649

■東京営業所/〒143-0025 東京都大田区南馬込4-16-3

TEL (03) 3777-1648 FAX (03) 3777-1649

■中部営業所/〒491-0074 愛知県一宮市東島町3-36

TEL (0586) 71-6151 FAX (0586) 72-4555

■大阪営業所/〒577-0016 大阪府東大阪市長田西2-6-2 寺西コンパクトオフィスB号

TEL (06) 6785-7202 FAX (06) 6785-7203

■岡山営業所/〒700-0954 岡山県岡山市南区米倉3-0-102

TEL (086) 259-2910 FAX (0586) 72-4555

■福岡営業所/〒811-1204 福岡県那珂川市片縄東1-12-1

TEL (092) 953-1892 FAX (092) 953-1973

■信濃大町研修センター/〒398-0001 長野県大町市大字平2-2-3-93

TEL (0261) 23-1678

販売店



MORITOH CORPORATION

株式会社 モリトー

取扱説明書



スリングパオ

この度は、弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
本製品はご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、取り扱い手順に従いご利用ください。
また本取扱説明書はスリング装着の基本的な方法について解説しています。ご利用いただく方の身体状況や使用環境によって取り扱いが異なります。詳しくは専門家にご相談ください。お読みになられた後も、大切に保管してください。

1. 安全上のご注意 必ずお守りください

1-1. 本説明書での表示方法

本書では、注意事項を「危険」、「注意」の二つに区別しています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される内容を記載しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生する内容を記載しています。

【絵表示の例】



危険



注意

危険・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に、絵や文章で、具体的な注意事項が記載されています。

(記載例)



危険

スリングは消耗品です。使用前後にはベルト・本体にほつれや擦り傷などないか点検してください。

1-2. 使用上の注意



危険

1. 本説明書の内容を熟知しない人は、使用しないでください。
2. この製品は介護リフトでの移乗を目的としています。
これ以外の用途には使用しないでください。
3. スリングシートは消耗品です。使用前後にはベルト・本体にほつれや擦り傷などがないか点検してください。異常がある時はただちに使用を中止し、新品に交換してください。
ほつれや擦り傷等が無い場合でも、使用開始後3年を目安に買い替えをお勧めします。
4. スリングの改造・補修は絶対に行わないでください。破損により対象者が落下し、対象者が死亡もしくは重大な傷害を負う危険性があります。



危険

- 質量140kg以上を超えて使用すると、スリングが破損するおそれがあります。
ご使用の介護リフトの安全荷重を限度としてください。
対象者が落下し、対象者が死亡もしくは重大な傷害を負う危険性があります。
使用できる荷重はリフトの取扱説明書に従ってください。
- 左右のベルト長が合わないままの使用はしないでください。
長さが違ったまま使用すると、吊り上げた時にバランスが崩れ、対象者が落下し、対象者が死亡もしくは重大な傷害を負う危険性があります。
- 吊り具を首や手首等に引っかけてまま、使用しないでください。
引っかったまま使用すると、過度な圧迫により対象者もしくは介助者の身体への傷害や窒息等により、ご利用者もしくは介助者が死亡もしくは重大な傷害を負う危険性があります。
- 入浴用として使用しないでください。（パオメッシュブルーは使用可能）
- 対象者を乗せた状態でツルベルトの調整は行わないでください。
- リフトを動かす前に、ハンガーに障害物等への接触がないか、確認してください。（図1参照）
- スリングのツルベルトがハンガーのフックに確実に掛かっていることを確認してください。外れたままリフトを上げ下げしますと、落下し死亡もしくは重傷を負う危険性があります。
- ツルベルトを直接ストラップに結ぶことは禁止です。
ツルベルトの強度が低下します。
- スリングを洗濯する際は、中性洗剤をご使用の上、手洗いモード又は弱流をお薦めいたします。
漂白剤の使用は厳禁です。生地や縫い目を著しく劣化させます。

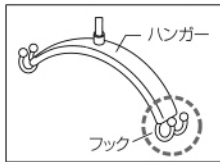
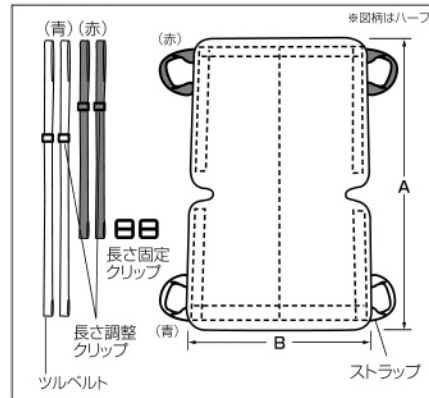


図1

2. パオの名称、仕様一覧

※ツルベルト及びストラップの色…赤 ■ 青 □

パオ名称



パオ仕様

サイズ	型番	寸法A (cm)	寸法B (cm)	耐荷重 (kg)	ベルト数	目安身長 (cm)
ハーフ	PA0 100	100	70	140	4	～180
フル	PA0 120	130	70	140	6	～175
ロング	PA0 130	150	70	140	6	～190

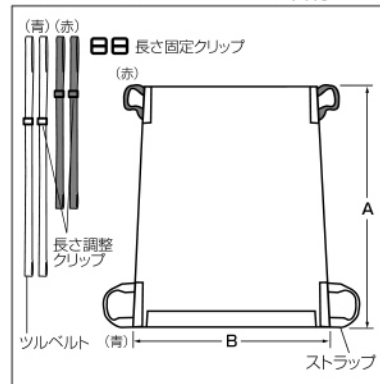
ツルベルト長さ調節範囲 (cm)

サイズ	色	最大	標準	最小
ハーフ	赤	830	600	510
ハーフ	青	1,120	900	660
フル	青	1,120	900	660
ロング	赤	1,120	800	660
ロング	青	530	400	340

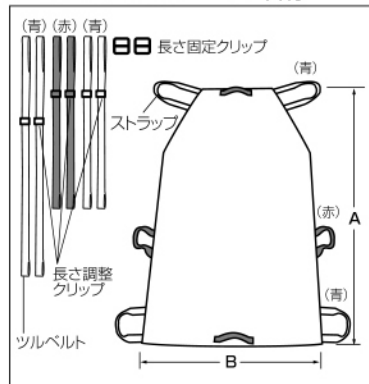
3. パオメッシュブルーの名称、仕様一覧

※ツルベルト及びストラップの色…赤 ■ 青 □

パオメッシュブルーハーフ名称



パオメッシュブルーフル名称



パオメッシュブルー仕様

サイズ	寸法A (cm)	寸法B (cm)	耐荷重 (kg)	ベルト数	目安身長 (cm)
ハーフ PA0 140	100	70	140	4	～180
フル PA0 150	140	70	140	6	～175

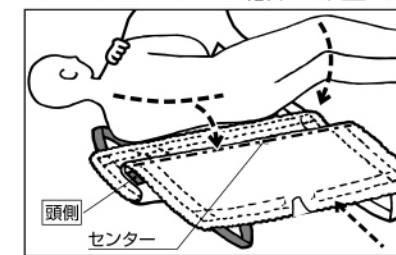
ツルベルト長さ調節範囲 (cm)

サイズ	色	最大	標準	最小
ハーフ	赤	830	600	510
ハーフ	青	1,120	900	660
フル	青	1,120	900	660
フル	赤	1,120	800	660
フル	青	530	400	360

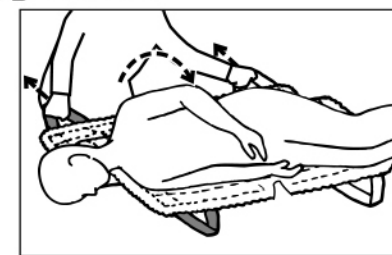
4. 使用方法

4-1. パオの敷き込み方

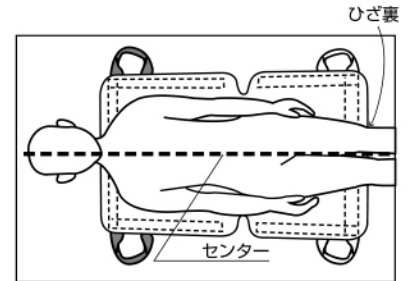
※図柄はハーフ



- 側臥位に体位変換し、頭側を頭側にセットします。
- 背骨とパオのセンターが合う位置に三つ折にして敷き込みます。
- パオの下端をひざ裏側の位置に合わせてください。ベッドの背上げにより、パオの下端とひざ裏が合わない場合は、スライディングシート等（別売）を使用して、つま先側へ位置を修正してください。



- 反対側に体位変換して下さい。
- 手元のストラップを、手前のほうに2本同時に、ゆっくりと引出して下さい。
- ベッドからの転落に注意してください。
- サイドレール（ベッド柵）のご使用をおすすめします。



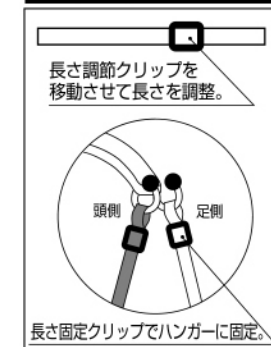
- 体がパオのセンターにあることを確認して下さい。また、体の傾きやねじれなどを直して下さい。
- 体がパオのセンターにないときは、もう一度体位変換してやり直すか又はスライディングシート等を使用して、修正してください。

⚠ 注意 体を引きずる行為は床ずれの原因となります。

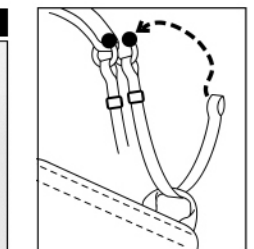
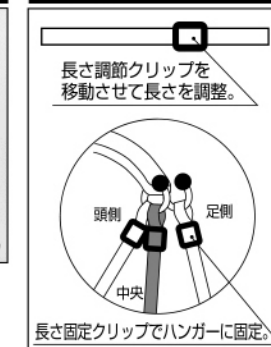
4-2. ツルベルトの掛け方

※ツルベルト及びストラップの色…赤 ■ 青 □

ハーフの場合



フルの場合



- ベッドのツルベルトの着脱及びリフト上げ降ろしの際は、必ずベッドの背上げをしてから行ってください。
- ツルベルトの色とストラップの色を合わせてご使用ください。
- ツルベルトの長さを調節し最も快適な姿勢にセットしてください。（吊り上げた状態でツルベルトの調整はできません。）
- ツルベルトの長さが決まったら付属の長さ固定クリップで止めてください。

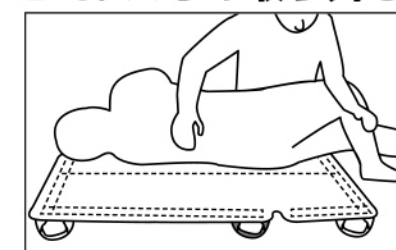
⚠ 危険 ツルベルトを直接ストラップに結ぶことは禁止です。ツルベルトの強度が低下します。

固定クリップの使い方

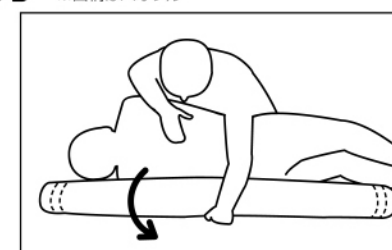


4-3. パオの取り外し方

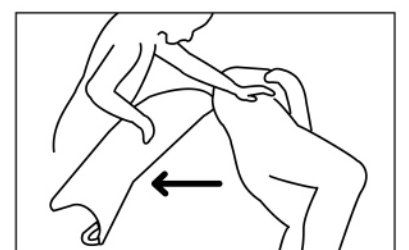
※図柄はパオフル



- 側臥位に体位変換します。



- パオを外側に折り込みます。

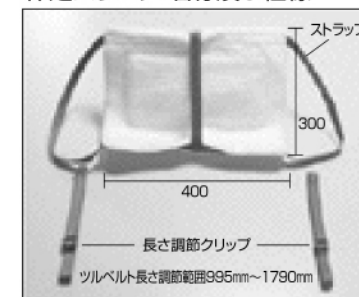


- 反対側に体位変換し、パオを抜き取ります。
- ベッドからの転落に注意してください。
- サイドレール（ベッド柵）のご使用をおすすめします。

4-4. 休足スリングの使い方

休足スリング 名称及び仕様

休足スリングを使用した水平吊り



休足スリングにかかとを置き、ストラップにツルベルトを通してください。
※4-2 ツルベルトの掛け方参照。

⚠ 注意 ひざをかくく曲げた姿勢で使ってください。

圧迫やたるみがないように、ツルベルトの長さを調整してください。

※頭部ツルベルト2本（1,100mm）はオプション（別売）です。